



柏の葉だより



市川市立第五中学校
第11号 令和5年3月10日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

第76回卒業証書授与式

3月10日（金）卒業式において卒業生に以下の話をしました。（内容は抜粋）



卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。
未来を予測できない時代を生き抜く、皆さんには「自己肯定感」をしっかりとってもらい生活してもらいたいです。

「自己肯定感」とはこれからの人生で首尾よく成功を収め、そのことに自信をもつことではありません。あるがままの自分を受け入れることです。自分の思い通りにいかないことがあっても前を向いて生きる自分自身や仲間を認め、新たな一歩を踏み出すことです。

今年度の卒業生は、新型コロナウイルス感染症により、皆さんの学校生活は、大きな影響を受けました。入学式もできず、長きにわたる休校で、友だちと会えない孤独な日々が中学校生活のスタートとなりました。2か月遅れの入学後も、楽しみにしていた、部活動や学校行事が延期や中止となってしまいました。そして、部活動の集大成である、総合体育大会やコンクールなども制限が残った中での実施となり、本来の活躍の場がない怒りや悲しみを抱いたことでしょう。また、学校生活も友だちと距離をとり、マスクをつけ、手洗いや消毒の繰り返しの毎日でした。

皆さんは、入学当初に思い描いていたやりたいこと、楽しみなことをたくさん我慢しました。皆さんは、この中学校生活で、つらいこと、面倒なことをたくさん耐えてきました。そして皆さんは、簡単にあきらめることをせず、今できることを見つけ、本当によく頑張りました。

たくさんの試練を乗り越えた皆さんには、「自己肯定感」を育て、培い、大きな成長があり、明るい未来が必ずやってくることを確信しています。はっきりとした強い意思を持った大人になってください。何事にも粘り強く自分自身で考え自分自身で決断する大人になってください。

結びに、今日まで、卒業生の成長に携わっていただいた全ての方々に、厚く御礼申し上げます、式辞といたします。

令和五年三月十日 市川市立第五中学校 校長 川俣 興一

2学年職業講和

2月13日（月）5・6校時に2学年は職業講和を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染対策のため、ここ数年間は職場体験が実施できていません。中学生での職場体験はとても貴重な体験になります。中学生の段階で将来就きたい職業を明確にしている生徒は少ないです。校長面接でも将来の夢（職業）は高校へまたは、大学へ進学して見つけたいという中学3年生がほとんどでした。今回2年生に職業について話をしてくれたのは10種類（飲食業「レストラン・居酒屋」・コンビニ経営・美容師・スポーツマネジメント・番組ディレクター・消防士・管理栄養士・内装業・整骨院「パーソナルトレーナー」）でしたが、生徒たちは興味のある2種類の職業を選びお話を聞きました。職場体験にはかなわないかもしれませんが、その職業について、本に書いてある内容にとどまらない実践的な話や苦労、やりがいを聞き、生徒たちは今後のキャリア形成に大いに役立ったと思います。



<飲食業>



<内装業>



春の城山風景

今年、東京での桜の開花予想は3月17日で全国のトップだと聞きました。3月からは暖かい日々が続いています。卒業式の日には梅の花は散り始めているでしょうか。来月からは新しい場所、ステージで活躍する人にとっても高台である城山の春は格別です。それぞれの活躍を城山から永遠に見守っています。

五中 HP を
ご覧ください



<文責：校長 川俣>



校内の梅 3月3日